

パンタナール通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報 2019年10月1日 193号
世界平和地球村の建設と自然環境の保護

第19回

国際協力青年奉仕隊特集



プレゼントを前に、第19回国際協力青年奉仕隊員と、プエルト・グアラニの生徒と教師たち。歓迎式にて。2019年8月30日

プエルト・グアラニの町の悲願を実現！

去る八月二十五日、日本を発つた、第一九回国際協力青年奉仕隊は、すべての日程を終えて、九月十三日、元気よく帰国しました。以下は、今回もまた奉仕隊プロジェクトの準備と実行に奔走した、佐野道准氏による報告の抜粋です。

「今回の青年奉仕隊の活動は、不思議なほどすべて順調だった。予定を変更せざるを得ないような事態は全く起こらなかつたし、一人の病人も出なかつた。また一つ一つの企画が順調に進行し、しかもとても良いインパクトを残したと思う。」

「企画の一番の目玉は、観光船をチャーターしたこと。船上でのプログラムの中心は、南米で先駆けて歩んできたパウロ兄弟とミヨンスン夫人の体験談。多くの写真を交えた証しはリアルで、若者たちの心に強く焼き付いたと思う。」

「プエルト・グアラニでは、出来るだけ地元の人々の願いに応えてあげたいと考え、盛りだくさんな内容となつた。まず学校の金網柵の設置。全長 117 m の柵をこしらえ、中央に幅 4 m の門を造つた。そして約 20 m のレンガのブロック塀を造つた。更に校舎の壁を修理してベンキを塗つた。そして食堂に壁画を描いた。また 40 個のゴミ箱の設置。これも住民たちの要請だった。二年前にオリンポでゴミ箱設置のクリーンキヤンペーンをしたことを見れば良く知つてるので、同じ依頼があつたのだと思う。中高等学校、警察署、診療所、裁判所などの公共機関にそれぞれ複数個のゴミ箱を設置した。」

「九月二日の歓送式には、オリンポから教育委員会責任者と市議長が参加し、この町の責任者と共に、私たちへの感謝の意を述べた。司会を担当した校長先生は『学校に塀を完成させることは自分たちの悲願でした。五年前から教育省に陳情し、州政府にも陳情しましたが予算を取つてもらえませんでした。そのことを述べた。司会を担当した校長先生は『学校に塀を完成させることを南北米福地開発協会が実現してくださり、心より感謝しています。また、また教室の壁が新しく塗装され、教室が蘇り、食堂に立派な壁画を描いてくれ、多くのギフトをもらい、またこの町をきれいにするゴミ箱の設置までしてくれたことに、單なる感謝という言葉では表現できないほど心から感謝しています。』と述べた。そして南北米福地開発協会と青年一人一人に感謝状が贈られた。また多くの父兄が参加して学校は大盛況だった。最後は子供たちの民族舞踊と青年たちのダンス。皆一緒に踊つて盛況のうちに終了した。その後、隊員と子供たちが最後の別れを惜しんでいた。一緒に写真を撮つたり、（次面に続く）

【8月30日】午前中、グアラニの小学校を訪問し、Tシャツやノートなどをプレゼント。生徒たちの前で、歌とダンスを披露しました。この日は、学校を囲う柵の土台をレンガとセメントで作るチームと、食堂の壁面に絵を描くチームとに分かれて奉仕活動を行い、作業を一段落させた後、校舎の外壁にペンキを塗つて行きました。



お互い、慣れない手つきですが。9月1日



校舎の外壁にペンキを塗る。9月1日



学校の食堂に描いた絵の前で、壁画チームの5名。9月1日

【8月31日】柵の土台を完成させた後、校舎の外壁にペンキを塗つて行きました。この日の夜は、パウロさんご自身の豊富な体験

手伝いに来てくれたので、作業がどんどん進んで行きました。

【9月1日】この日は日曜日。小学校のすぐそばに

中で、神様のみ意を知り、祝福を受けたパウロさん。

「言葉は通じないけれど、文先生の態度に惹きつけられて、この方について行くしかない！」と思つてついて行つた。」と力強く語つていました。

【9月2日】三日間の奉仕活動を終え、グアラニを

ゴミ箱40個を設置し、子供たちと一緒にゴミ拾いをしました。その後行われた歓送会（閉講式）には、小中学校の生徒をはじめ、教育関係の責任者、地域の方々等、多くの人が集まり、盛大に行われました。互いに別れを惜しみながらも、グアラニの町を発ち、約二時間半ほどかけてオリンポの町に向かいます。その途中、キム・ミヨンスンさん（南米で直接文先生に侍られた方）とご主人のマウリシオ・バルディエニさんが合流。文先生とのエピソードやミヨンスンさんご自身の体験談を聴きました。

午後一時頃、オリンポの港に到着。アリストイデスさんに出迎えられます。文先生ご夫妻が実際に生活されていた場を見学し、以前の奉仕隊の足跡を訪ねました。船に戻り、オリンポからパラグアイ川を北上し、レダ基地へと向かいます。途中、ナビレキを目の前にし、全員で祈祷を捧げました。

【9月3日】未明、プエルト・レダに到着。午前7時頃下船、レダに上陸。（続きは本紙次号にて）

*奉仕地のプエルト・グアラニ（Puerto Guarani）は、パラグアイ川右岸の町。オリンポ市の約30km下流側に位置する。*第19回青年奉仕隊参加者..日本から男性五名、女性八名、レダから男性二名、アスンシオンより男性四名、パラグアイ人男性一名。

【9月1日】この日は日曜日。小学校のすぐそばにあるカトリック教会の礼拝に参加。礼拝の中で青年たちがパフォーマンス、ペドロさんがギターを弾きました。礼拝後は、昨日に引き続き、校舎の外壁にペンキを塗りました。日が沈む頃に無事塗り終え、その後、子供たちと遅くまで遊びました。



船上で語るミヨンスンさん。9月2日



仲良く一緒にゴミ箱を持って。9月2日



甘え上手なんだから... 9月1日



大縄跳びなど、全力で遊ぶ。8月30日



新しいお姉さんと新しい妹。9月2日



新しいお兄さんと新しい弟。8月30日

レダ開拓二十年の歩み

モデル村の建設を目指して

- ★インディヘナの村々に校舎建設と教育支援
- ★青年たちに職業訓練と雇用創出
- ★パクー養殖や今後エビ養殖による事業化へ

誰も行きたいと思わない地域に喜びの町を目指して
南米・パンタナールのレダ。ヤシの家屋が多かった。



1999年のレダ。ヤシの家屋が多かった。



現在のレダのスイミングプール。

パラグアイ レダ開拓20周年記念式典

令和元年10月14日（体育の日）午後4時～7時

開場：午後3：30

開会：午後4：00

会場：京王プラザホテル

一部：記念式典 4F大宴会場『扇』

二部：懇親会 4F中宴会場『花』

会費：式典と懇親会参加（10,000円）

式典のみ参加（3,000円）

懇親会のみ参加（10,000円）

（希望される方は下記事務局あてご連絡ください）

お申込み送信先：E-mail: office@asd-nsa.com

:FAX:044-829-2820



大統領がパクーの稚魚を放流。



国際協力青年奉仕隊を毎年派遣。

一般社団法人 南北米福地開発協会 事務局

〒213-0001

神奈川県川崎市高津区

溝口3-11-15
岩崎ビル4F

電話：044-829-2821

FAX: 044-829-2820

ゆうちょ銀行（旧一般会員会費納入）

記号10280 番号61349751

一般社団法人 南北米福地開発協会

Eメール: office@asd-nsa.com

ホームページ: <https://asd-nsa.com>

Facebook: <https://www.facebook.com/ledaproject.jp/>

会員種別

♠会員一口1000円／月

♠特別会員一口1万円／月

♠法人会員一口1万円／月

※いずれも口数は申込者が申告

会費は、毎月の引き落とし方式です。

会費振替用口座 ゆうちょ銀行

00290-5-113072

加入者名：シャ）南北米福地開発協会

入会申し込みと同時に手続きをお願い申し上げます。それが確認でき次第、会員番号を確定し、ご案内いたします。

♥入会申込書は、左記の事務局にお申しつけください。ホームページからも入手できます。

お便り募集



ホタル

読者の皆様からのお便りを募集します。本紙記事へのご感想や提案、皆様個人やご家庭での歩み、あるいはグループや支部での活動と関連写真、イラストなどをお待ちしています。宛て先は、事務局：office@asd-nsa.comへお願いします。